

mitsubishi

カラーカメラ
形名

CIT-8000

据付工事説明書

(販売店・工事店さま用)

安全のために必ず守ること	2
据付上のお願い	2
据付場所の選定	3
同軸ケーブルの接続	4
カメラコントローラなどへの接続	5
標準据付工事方法	6
フランジバックの調整方法	7
据付工事後の確認	8
試運転	8



警告

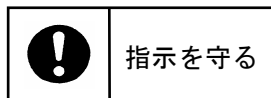
- 据付工事は、販売店または専門の工事店が実施してください。
間違った工事は、故障や事故の原因になります。
- 据付工事部品は必ず付属部品および指定の部品をご使用ください。
当社指定部品を使用しないと故障の原因となります。

安全のために必ず守ること

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この工事説明書及び取扱説明書の「安全のために必ず守ること」をよく読んで、注意事項を必ず守ってください。また、以下の事項は、安全のために必ず守ってください。

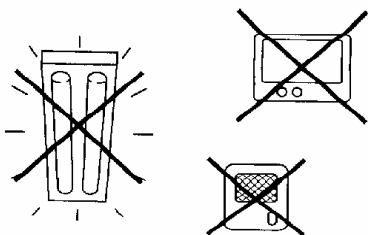
1. 工事されるときは、接続機器類の電源プラグを必ず抜いてから行ってください。万一の感電防止のためをお願いします。
2. 工具は適合したものを使用してください。
3. 据付場所が高い場合は、頑丈な据付台（手すり付き）から作業してください。

●本文中に使われる「図記号」の意味は次のとおりです。

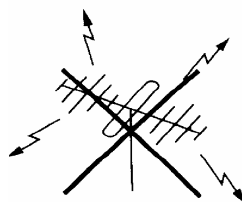


据付上のお願い

◎カメラケーブルの配線に際して電灯線やテレビのアンテナ配線に近づけて引き回したり、インターホンやモニタの近くにある場合、映像やインターホーンに雑音が入る場合があります。その時は配線や位置を変えてください。



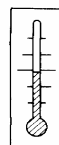
◎テレビやラジオの送信アンテナ、モータやトランスなどの強い電界、磁界の近くでお使いになると、雑音が入ったり映像が曲がったりすることがあります。このような場合は、カメラケーブルに薄鋼電線管を設けて通電してください。
2系統以上のシステム構成のときは、システム毎に電線管を設けてください。



◎取付場所はカメラの重量に十分耐える所を選んでしっかり固定してください。

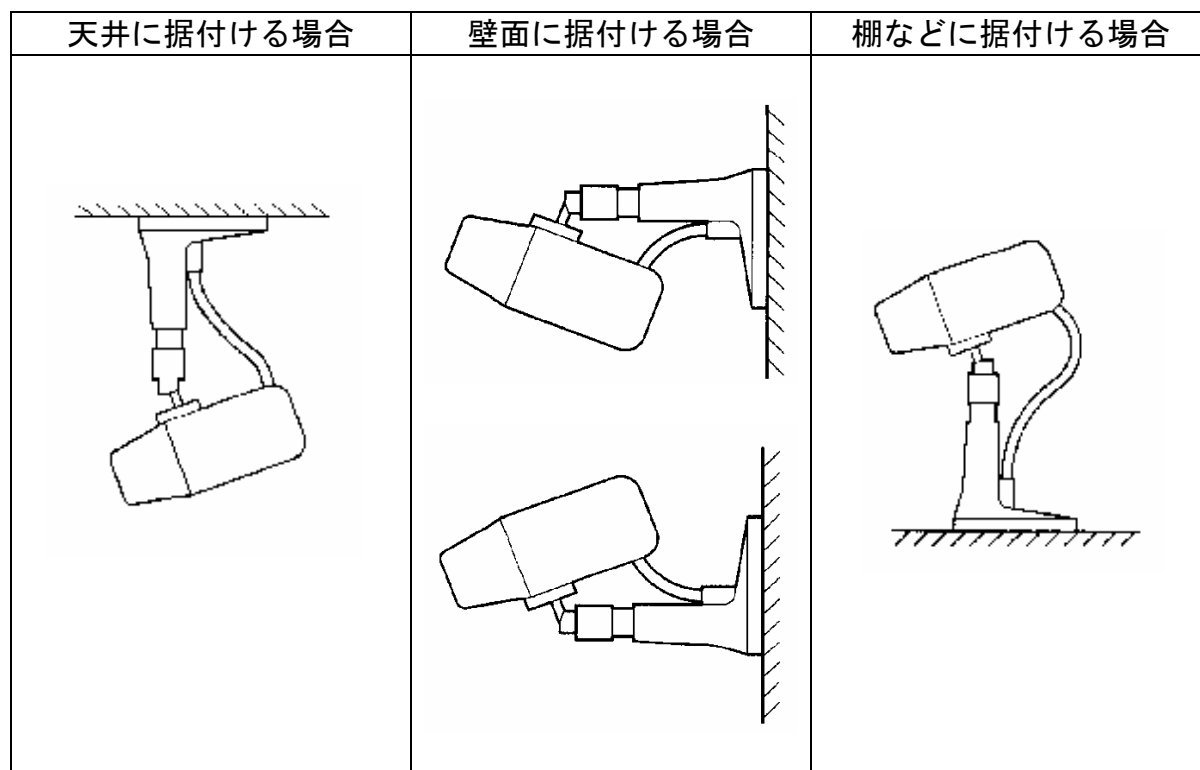


◎カメラを設置される周囲の温度は、 $-10^{\circ}\text{C}\sim+50^{\circ}\text{C}$ 、湿度は80%以下（結露しない場所）でご使用ください。特に調理室やボイラー室など温度や湿度の高い所での使用は、性能を低下させますので離れた位置でご使用ください。また、カメラコントローラなど（電源ユニット、カメラコントローラ、マルチフレームコントローラ）の使用電源は90V \sim 110Vでお使いください。



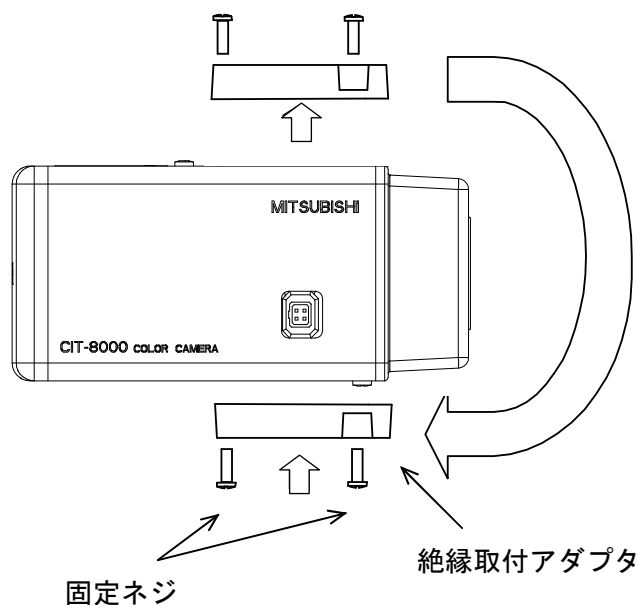
据付場所の選定

- カメラは据付場所によりいろいろな据付方向が選べますから、設置前に十分検討の上、最適な場所を選定してください。据付場所により下図のような取付が出来ます。



- カメラ据付方向により、カメラの絶縁取付アダプタを下記の通りに移動してください。

- 1) 天井などに据え付ける場合
そのまま（工場出荷状態）ご使用ください。
- 2) 棚などに据え付ける場合
カメラの絶縁取付アダプタを付け換えます。



- カメラの天面に取り付けられている絶縁取付アダプタを固定している固定ネジ（3個）をはずし、ネジを元に戻します。
- 底面の固定ネジ（3個）をはずし、絶縁取付アダプタをカメラの底面に置き、先ほどはずしたネジで固定します。

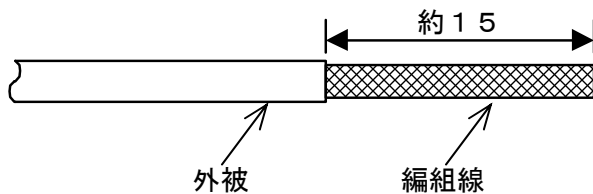
同軸ケーブルの接続

■ 使用工具

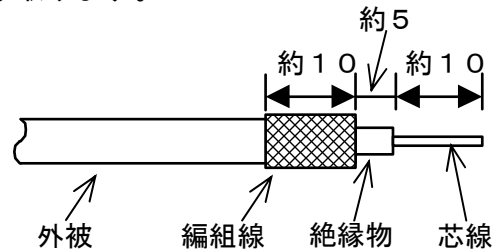
- ・ プラス (+) ドライバー (2 番) 1 本
- ・ カッター (ケーブル加工に用いる) 1 本
- ・ ラジオペンチ 1 本

■ カメラへの接続

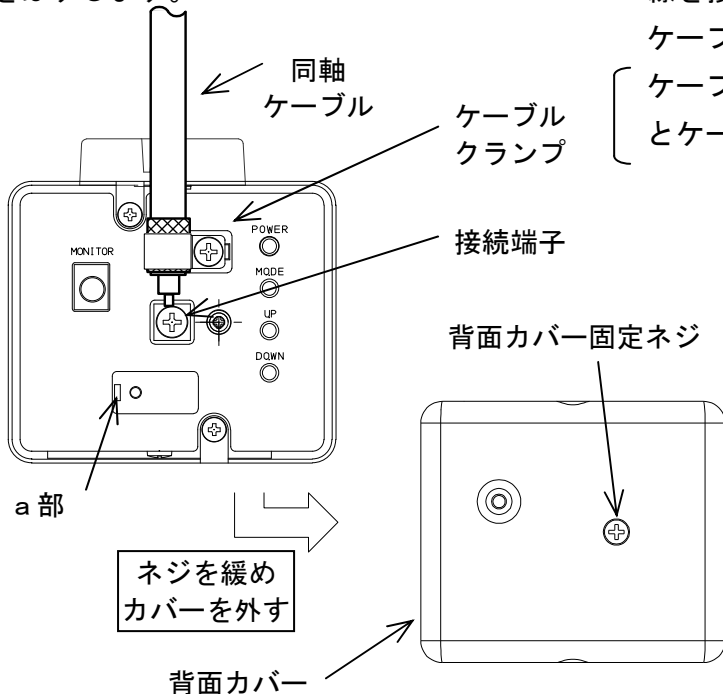
①ケーブル外被を約15mm切り取ります。



②編組線を10mmの長さに切断して外被にかぶせ、ケーブル端より10mmのところまで絶縁物を切り取ります。

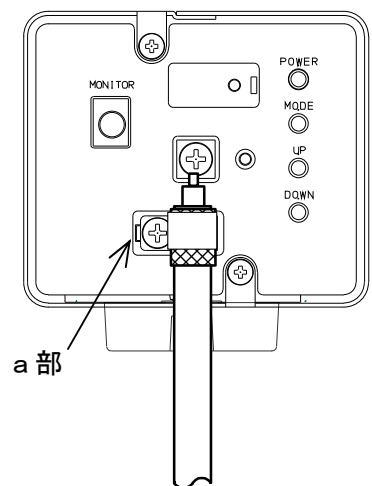


③プラスドライバー (2 番) を用い、カメラの背面カバーを留めているネジを緩めて背面カバーをはずします。



④プラスドライバー (2 番) を用い、ケーブルの芯線を接続端子に接続し、ケーブルの編組線の部分をケーブルクランプによりしっかりと固定します。

〔ケーブルクランプを下側 (a 部) に取り付けたとケーブルをカメラの下側から引き出せます。〕



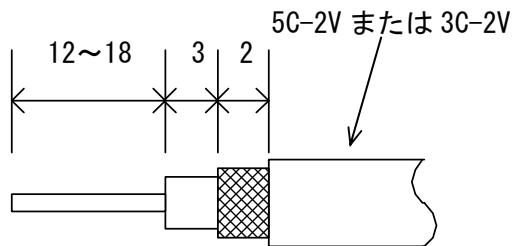
* MONITOR (モニタ出力) には、2 極、φ2.5 ミニチュアジャック (JIS C 6560-1979) を使用してください。

カメラコントローラなどへの接続

(電源ユニット, カメラコントローラ, マルチフレームコントローラ)

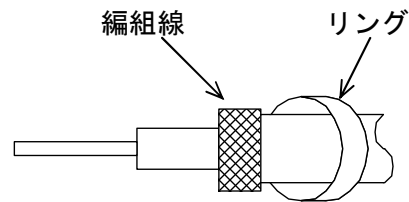
F形コネクタ（工事手配）を接続する同軸ケーブルに加工する必要があります。
以下の手順に従って加工してください。

①ケーブルを下図のように加工します。

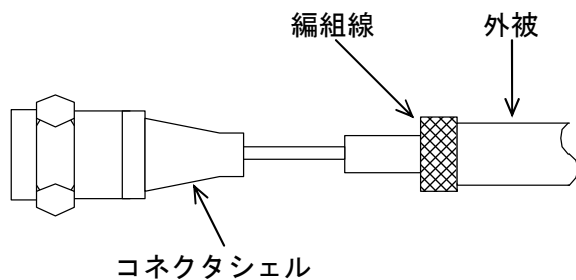


単位：mm

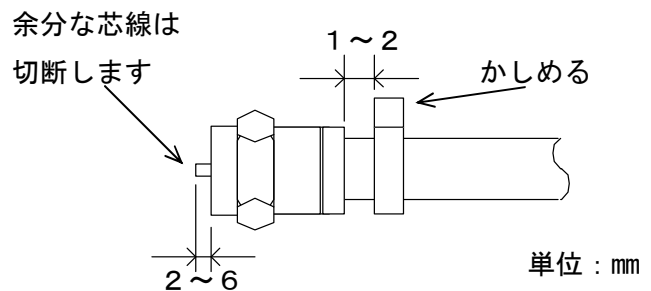
②リングをケーブルに通し、編組線を折り返します。



③ケーブルの外被（折り返した編組線）がコネクタシェルに当たるまで、コネクタシェルをケーブルの編組線の下にすべり込ませます。



④リングをコネクタシェル側にすべらせて、ペンチでかします。



お願い



ケーブルの最大延長距離をお守りください

カメラとカメラコントローラなど（電源ユニット、カメラコントローラ、マルチフレームコントローラ）の間は5C-2V[3C-2V]で最長 500m[200m] 以内で接続してください。500m[200m] を超えて接続しますと、電源の供給及び同軸ワンラインを通じての制御（除く、電源ユニット）が行えなくなります。

カメラとカメラコントローラなど（電源ユニット、カメラコントローラ、マルチフレームコントローラ）の間には、他の機器を接続しないでください。通信などができなくなります。

注) []内は3C-2V 使用時の値です。

標準据付工事方法

■ 使用工具

・ プラス (+) ドライバー (2 番) 1 本

①カメラ取付足を据付場所にネジ (4 本) で確実に固定します。

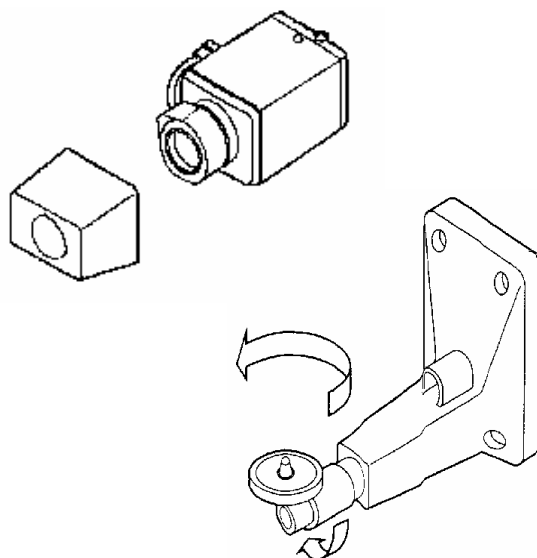
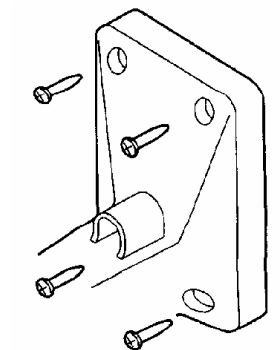
カメラ取付足を取り付ける前に、別紙の取付足ゲージを用いて取付穴およびケーブル通し穴の位置を決めてください。

②カメラを取付足のカメラ取付ネジで確実に固定します。

③モニタの画面を確認しながら角度調節リングを少しゆるめ、上下左右の方向を適切な角度に決め、確実にリングを締め付けます。

レンズの画角については別冊の取扱説明書を参照してください。

④角度調節後、レンズカバーをはめ込みます。



[取付上のお願い]

取付場所の材質によっては取付方が異なります。

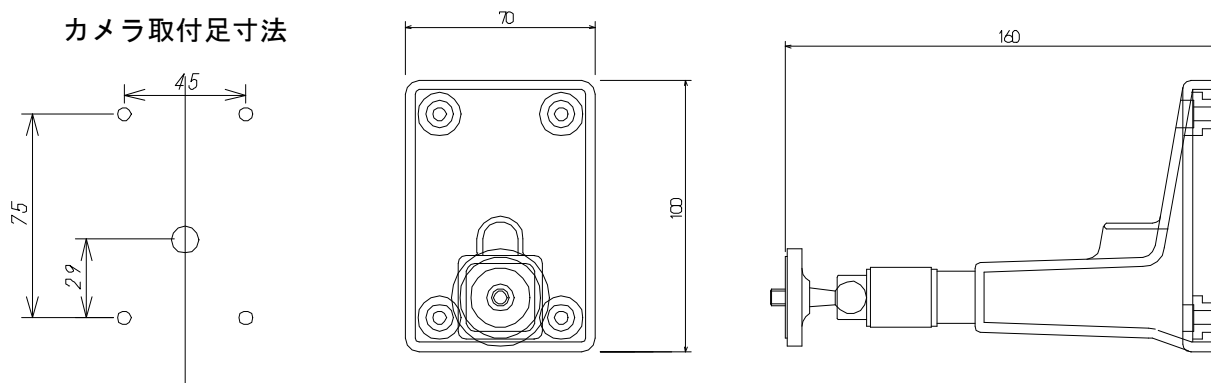
①木材の場合

カメラ取付足取付用ネジ (付属品) で固定します。板厚は 20 mm 以上必要です。

②鉄材の場合

M4 のボルトナット (別手配) で固定します。

カメラ取付足寸法



フランジバックの調節方法

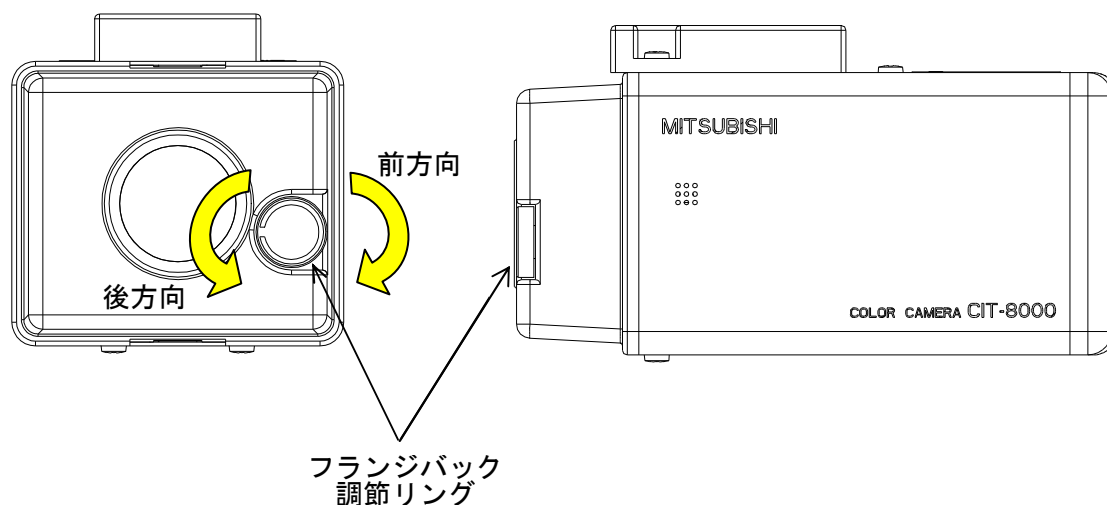
出荷カメラは全数フランジバックを調節しておりますが、使用するレンズのばらつきにより再調節が必要な場合は次の要領によりフランジバックの調節をしてください。

CSマウント固定焦点レンズの場合

- 1) アイリスを開放にして、フォーカスリングを ∞ に合わせて遠方の被写体を映します。入射光量強い場合には、NDフィルタ等で減光してください。アイリスを絞りますと、焦点深度が変化し、正しい調節ができませんのでアイリスは必ず開放にしてください。
- 2) モニタの映像を確認しながら、フランジバック調節リングを回転させ、被写体にもっともフォーカスが合う位置に調節します。
- 3) 距離が明確な近距離被写体（例えば2m）を映し、フォーカスを合わせます。このとき、レンズのフォーカスリング指標が被写体の位置になることを確認してください。ずれている場合は、再度1)の項目より調節をやり直してください。

CSマウントズームレンズの場合

- 1) アイリスを開放にし（必要によりNDフィルタを使用してください）、ズームレンズを望遠（TELE）にして、遠くの被写体（10m以上）を撮像し、レンズ側のフォーカスリングでフォーカスが合うように調節します。
- 2) 次に広角（WIDE）一杯にします。焦点がずれている場合は、フランジバック調節リングを回転させ被写体にもっともフォーカスが合う位置に調節します。
- 3) ズーミングしてもフォーカスぼけが無くなるまで上記1）、2）項を繰り返して調節します。



前方向：レンズに対してCCDの位置が近づきます。フォーカスがFARへ移動します。

後方向：レンズに対してCCDの位置が遠ざかります。フォーカスがNEARへ移動します。

据付工事後の確認

据付工事が終わりましたら、下表に従ってもう一度点検してください。

不具合がありましたら、必ず直してください。（機能が発揮できないばかりか、安全性が確保できません。）

● 安全性に係わる項目

No.	項目	判定
1	金属類や燃えやすいものを内部に入れていないか。	YES NO
2	他のものを上に置いていないか。	YES NO
3	指定のカメラコントローラなどを使用しているか。	YES NO
4	ケースをはずしたり、改造したりしていないか。	YES NO
5	重いものを載せたり熱器具のそばに設置していないか。	YES NO
6	直射日光のあたる所に設置していないか。	YES NO
7	衝撃、振動のある所に設置していないか。	YES NO
8	据付場所は、カメラの重量に十分耐えられるか。	YES NO
9	据付場所に合った据付ネジを使用しているか。	YES NO
10	取付足はネジ4本で固定しているか。	YES NO
11	カメラの固定は十分か。	YES NO
12	カメラケーブルの固定によるケーブルクランプ及び芯線の接続端子ネジのゆるみはないか。	YES NO
13	カメラコントローラ側でコネクタの抜けることはないか。	YES NO
14	ケーブルを無理に曲げたり引っ張ったりしていないか。	YES NO

● 性能・機能に係わる項目

No.	項目	判定
1	使用場所の周囲温度・湿度は規格内か。	YES NO
2	結露する場所で使用していないか。	YES NO
3	同軸ケーブルの近くに電力、アンテナケーブルが配線されていないか。	YES NO
4	カメラ～カメラコントローラ間は、5C-2V[3C-2V]ケーブルで500m[200m]を超えていないか。	YES NO
5	フランジバックの調整は行ったか。	YES NO
6	レンズはDC駆動タイプを使用しているか。	YES NO

注) []内は3C-2Vケーブル使用時の値です。

試運転

- 試運転は、お客様及び販売店の立ち会いのもとで行ってください。
- 別冊の取扱説明書に基づいて、操作手順、安全を確保するための正しい使い方について、販売店からご説明ください。特に、「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようご説明ください。